



## 問 今後の津花火大会の開催についての展望は

物価高騰の影響等により、全国的に花火大会が減ってきているとの報道を目にしたが、そのような状況の中で津花火大会は今後、どのような形で開催していくのか。他市の花火大会のように、より多くの費用をかけることで、全国から広く観客を呼び、より大きな経済効果を生むことのできる花火大会を目指してはどうか。

## 答 歴史ある花火大会の形を大切にしながら今後の姿を考えていく

津花火大会は、今後も交通警備や会場設営等に関し可能な限り経費削減に努め、企業協賛、個人協賛等による協賛金と花火大会事業補助金を開催費用に充当し、花火大会の開催を望む声や協賛いただく方々の思いに応えるため、できる限りの工夫を行い開催していく。

他市では多くの費用をかけて花火大会を開催している事例もあるが、一晩の入込客数で経済効果を図ることは難しいのが現実である。歴史のある津花火大会が今の形で運営され、市民に親しまれ、引き継がれてきたことを大切にしながら花火大会を継続していきたい。

### その他の質疑・質問

- 医療過疎地域の医療体制について
  - 10年前と現在の町医者数の変動は
  - 在宅医療のメリット・デメリットは
  - 将来のお年寄り像を踏まえた移動診療車の導入などの検討は
- 無人駅を活用した地域力アップについて
- 触る地図の普及について

▶  
全国から広く観客を呼び出すことができる花火大会を目指しては



## 問 津市の戦略的広報活動について問う

来年度から広報紙の発行回数が月2回から月1回になるが、市民に届く情報量をどのように補完するのか。また、近年はSNSを活用した広報戦略が有効で、特にLINE公式アカウントは即時性があり、市民の知りたい情報を個別に伝えることができる。LINEは幅広い年齢層に利用されていることから、導入を検討してはどうか。

## 答 時代に合った広報戦略を打ち立てていく

新しい広報紙のページ数は現行の広報津の折り込み紙を含めた1号分と同等と想定していることから、単純に情報量だけで比べると少なくなるが、紙媒体で伝える情報を精査し、市のホームページやケーブルテレビ放送等、ほかの情報発信媒体との連動をこれまで以上に強化する。

LINEについては、広く浸透しており、市の情報発信手段として有効であるので、令和6年度中に公式アカウントを開設する。

今後は、即時性のあるSNSとともに、紙媒体も一定程度編集方針を改めて、時代に合った広報戦略を打ち立てていきたい。

### その他の質疑・質問

- 議案第88号 令和6年度津市一般会計補正予算(第3号)
  - 高速船運航事業者運航継続支援事業について
- エリアプラットフォームのシェアサイクル導入実験について
- 津駅西口駅前広場の再整備に伴う受動喫煙対策のための分煙施設等の環境整備について

▶  
6カ月の導入実験が始まったエリアプラットフォームのシェアサイクル

